

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成24年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

3 その他

（1）本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「○年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「－」・・・該当がないもの 「△」・・・マイナス（比較減）

「X」・・・数値が秘匿されているもの

（2）業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P83～P92）を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 —生産指数は前年比△1.8%と2年連続して低下—

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、93.6で前年比1.8%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比3.6%低下し4期ぶりに低下、II期は同0.9%上昇、III期は同4.7%低下、IV期も同3.8%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、97.8で前年比0.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.8%上昇し3期連続して上昇、II期は同2.1%低下、III期も同3.3%低下、IV期も同1.9%低下しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、96.6で前年比1.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.3%上昇し3期連続して上昇、II期は同2.0%低下、III期も同3.2%低下、IV期も同2.2%低下しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、94.5で前年比1.6%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比3.1%低下し4期ぶりに低下、II期も同1.9%低下、III期も同4.5%低下、IV期も同2.5%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、92.4で前年末比15.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期末比1.1%上昇し2期ぶりに上昇、II期は同7.3%低下、III期も同3.3%低下、IV期も同6.2%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）は、II期を除いて各期とも低下しました。出荷指数（同）は、各期とも低下しました。在庫指数（同）の前期末比では、I期を除いて各期とも低下しました。

また、生産・出荷指数（原指数）の前年同期比ではI期、II期は上昇、III期、IV期は低下しました。在庫指数（同）の前年同期末比はI期を除いて各期とも低下しました。

県内の工業生産は2年連続して低下し、化学工業や石油・石炭製品工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産は、I期は前年に引き続き3期連続の上昇となった後、II期、III期、IV期は3期連続の低下となりました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

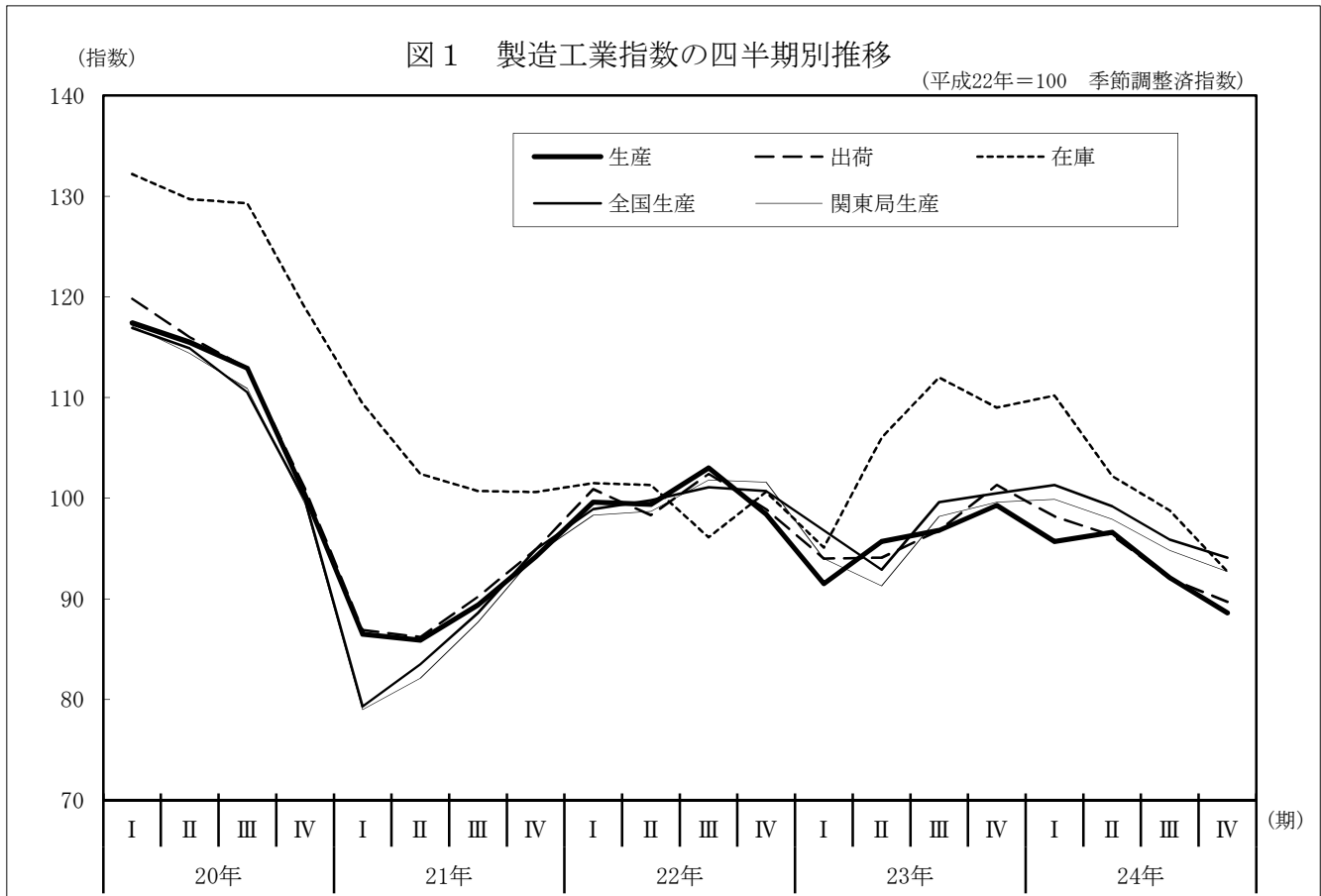


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成22年=100)

		平成20年	21年	22年	23年	24年	24年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	111.7	88.9	100.0	95.3	93.6	95.7	96.6	92.1	88.6
	生産	△ 4.9	△ 20.4	12.5	△ 4.7	△ 1.8	△ 3.6	0.9	△ 4.7	△ 3.8
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	8.1	1.2	△ 5.1	△ 10.2
出荷	指数	112.7	89.5	100.0	96.0	94.5	98.2	96.3	92.0	89.7
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	8.6	2.5	△ 5.3	△ 11.0
	対前年(期末)増減率%	△ 3.5	△ 20.6	11.7	△ 4.0	△ 1.6	△ 3.1	△ 1.9	△ 4.5	△ 2.5
在庫	指数	120.5	101.3	100.8	108.8	92.4	110.2	102.2	98.8	92.7
	対前年(期末)増減率%	△ 7.4	△ 15.9	△ 0.5	7.9	△ 15.1	1.1	△ 7.3	△ 3.3	△ 6.2
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	15.8	△ 3.5	△ 11.4	△ 15.1
全国	指数	110.7	86.5	100.0	97.2	97.8	101.3	99.2	95.9	94.1
	生産	△ 3.6	△ 21.9	15.6	△ 2.8	0.6	0.8	△ 2.1	△ 3.3	△ 1.9
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	6.6	6.9	△ 3.9	△ 6.0
関東経済産業局管内	指数	110.6	85.7	100.0	95.4	96.6	99.9	97.9	94.8	92.7
	生産	△ 4.7	△ 22.5	16.7	△ 4.6	1.3	0.3	△ 2.0	△ 3.2	△ 2.2
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	8.6	7.6	△ 3.5	△ 6.3

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、化粧品や医薬品などが減少した化学工業（前年比 12.9%低下）や、ガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（同 13.0%低下）など 7 業種が低下しました。

また、普通トラックなどが増加した輸送機械工業（前年比 5.6%上昇）など 10 業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、ガソリンや軽油などが減少した石油・石炭製品工業（前年比 9.6%低下）や、化粧品などが減少した化学工業（同 8.2%低下）など 8 業種が低下しました。

また、普通トラックなどが増加した輸送機械工業（前年比 5.1%上昇）など 10 業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少した輸送機械工業（前年末比 35.9%低下）や装軌式トラクタなどが減少したはん用・生産用・業務用機械工業（同 35.1%低下）など 13 業種が低下しました。

また、伸銅製品などが増加した非鉄金属工業（前年末比 10.2%上昇）など 3 業種が上昇しました。

(P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照)

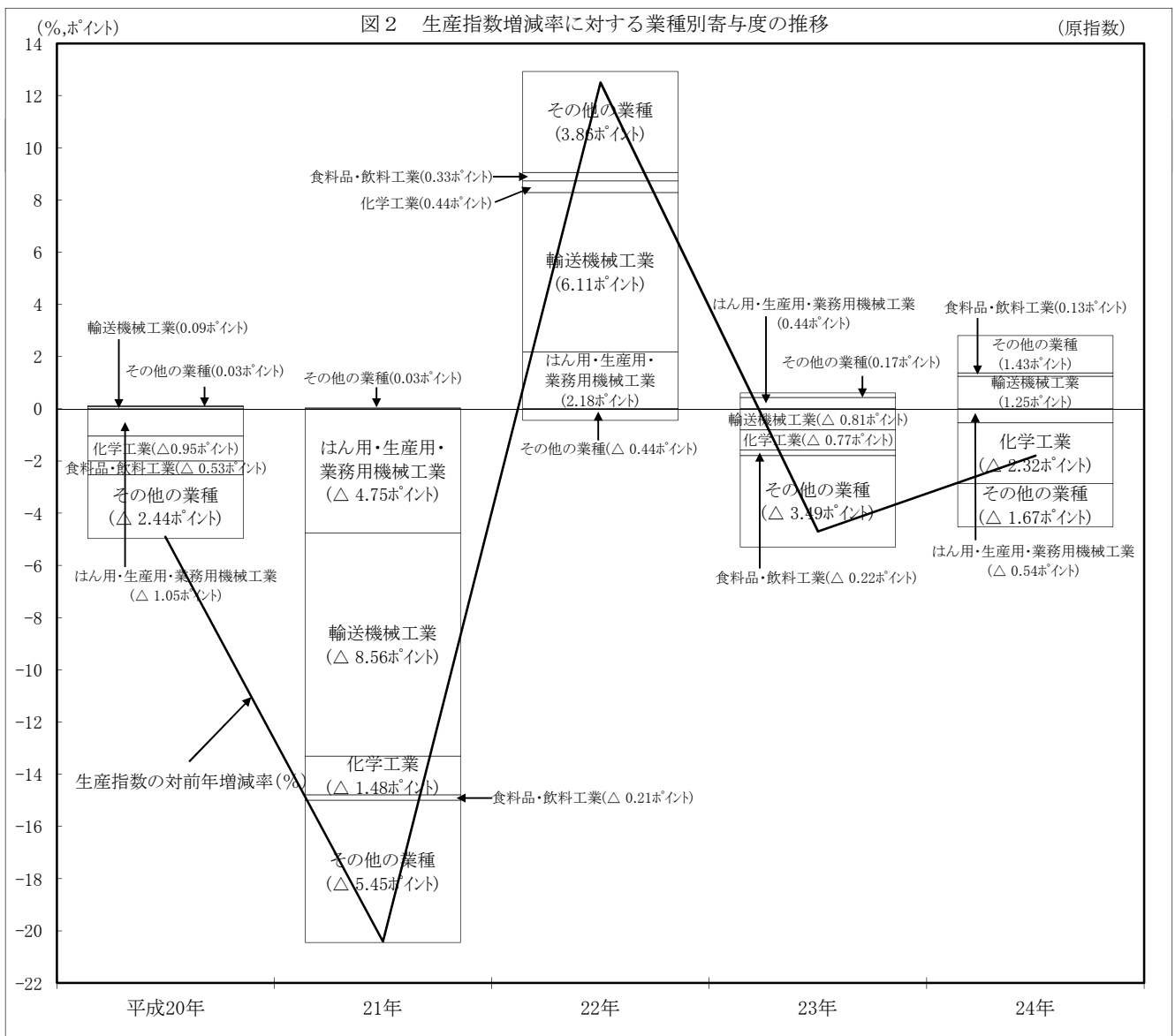


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 93.6 対前年増減率 $\Delta 1.8\%$ 上昇10業種、低下7業種、横ばい1業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	輸送機械工業	5.6	1.25	増	普通トラック、エンジン(自動車用)、特装ボデーなど
				減	小型乗用車、普通乗用車、懸架制動装置部品など
	情報通信機械工業	15.7	0.99	増	はん用コンピュータ、無線応用装置、外部記憶装置など
				減	デジタル伝送装置、端末装置、基地局通信装置など
食料品・飲料工業	1.4	0.13	増	チョコレート、炭酸飲料、発酵乳など	
			減	牛乳、ビスケット類、グルタミン酸ソーダなど	
低下	化学工業	$\Delta 12.9$	$\Delta 2.32$	増	ポリエチレン、ウレタンフォーム、合成樹脂塗料など
				減	化粧品、医薬品、写真フィルムなど
	石油・石炭製品工業	$\Delta 13.0$	$\Delta 1.03$	増	精製及び混合原油
				減	ガソリン、軽油、C重油など
はん用・生産用・業務用機械工業	$\Delta 4.3$	$\Delta 0.54$	増	ボイラ部品、プレス用金型、マシニングセンタなど	
			減	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、はん用内燃機関、真空ポンプなど	
プラスチック製品工業	$\Delta 7.2$	$\Delta 0.36$	増	ディスクレコード、プラスチック製容器	
			減	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製パイプなど	

(2) 出荷 年指数 94.5 対前年増減率 $\Delta 1.6\%$ 上昇10業種、低下8業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	輸送機械工業	5.1	1.27	増	普通トラック、エンジン(自動車用)、けん引車など
				減	小型乗用車、普通乗用車、懸架制動装置部品など
	情報通信機械工業	17.0	0.79	増	はん用コンピュータ、無線応用装置、外部記憶装置など
				減	デジタル伝送装置、端末装置、基地局通信装置など
食料品・飲料工業	0.2	0.02	増	チョコレート、発酵乳、冷凍調理食品など	
			減	牛乳、ビスケット類、グルタミン酸ソーダなど	
低下	石油・石炭製品工業	$\Delta 9.6$	$\Delta 1.65$	増	精製及び混合原油、コークス、ナフサ
				減	ガソリン、軽油、C重油など
	化学工業	$\Delta 8.2$	$\Delta 1.11$	増	ポリエチレン、エチレン、合成ゴムなど
				減	化粧品、写真フィルム、医薬品など
鉄鋼業	$\Delta 8.4$	$\Delta 0.36$	増	普通鋼鋼帯、普通鋼棒鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材など	
			減	普通鋼鋼板、普通鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼熱間圧延鋼材など	
はん用・生産用・業務用機械工業	$\Delta 2.5$	$\Delta 0.29$	増	軸受、プレス用金型、ボイラ部品など	
			減	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、はん用内燃機関、油圧機器など	

(3) 在庫 年指数 92.4 対前年末増減率 $\Delta 15.1\%$ 上昇3業種、低下13業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	非鉄金属工業	10.2	0.27	増	伸銅製品、銅電線、光ファイバ
				減	電力用電線・ケーブル
低下	輸送機械工業	$\Delta 35.9$	$\Delta 5.58$	増	小型トラック、普通乗用車、小型乗用車
				減	普通トラック、大型バス、けん引車など
	はん用・生産用・業務用機械工業	$\Delta 35.1$	$\Delta 4.14$	増	ポンプ、精密測定機、包装・荷造機械など
				減	装軌式トラクタ、建設用クレーン、はん用内燃機関など
化学工業	$\Delta 9.6$	$\Delta 2.19$	増	石油樹脂、ポリスチレン、アクリロニトリルなど	
			減	合成ゴム、写真フィルム、メタクリル酸エステルなど	
情報通信機械工業	$\Delta 63.3$	$\Delta 1.23$	増	—	
			減	パーソナルコンピュータ、陸上移動通信装置、ガス警報器	
石油・石炭製品工業	$\Delta 7.6$	$\Delta 1.09$	増	軽油、コークス	
			減	C重油、ナフサ、灯油など	
食料品・飲料工業	$\Delta 0.9$	$\Delta 0.04$	増	チョコレート、果実酒、ビスケット類など	
			減	小麦粉、焼酎、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など	

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成22年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2 1年	2 2年	2 3年	2 4年	2 1年	2 2年	2 3年	2 4年	2 1年	2 2年	2 3年	2 4年	2 1年	2 2年	2 3年	2 4年
製 造 工 業	指 数	88.9	100.0	95.3	93.6	89.5	100.0	96.0	94.5	101.3	100.8	108.8	92.4	135.0	100.0	106.7	104.8
	対前年増減率%	△ 20.4	12.5	△ 4.7	△ 1.8	△ 20.6	11.7	△ 4.0	△ 1.6	△ 15.9	△ 0.5	7.9	△ 15.1	24.9	△ 25.9	6.7	△ 1.8
鉄 鋼 業	指 数	72.4	100.0	94.6	87.0	76.8	100.0	96.9	88.8	92.0	106.6	92.1	91.7	116.3	100.0	108.4	100.1
	対前年増減率%	△ 34.4	38.1	△ 5.4	△ 8.0	△ 36.4	30.2	△ 3.1	△ 8.4	△ 17.8	15.9	△ 13.6	△ 0.4	19.5	△ 14.0	8.4	△ 7.7
非鉄金属 工 業	指 数	87.8	100.0	93.0	100.6	87.5	100.0	93.1	99.6	93.6	111.3	119.3	131.5	130.2	100.0	115.0	123.4
	対前年増減率%	△ 9.6	13.9	△ 7.0	8.2	△ 10.9	14.3	△ 6.9	7.0	△ 12.2	18.9	7.2	10.2	23.4	△ 23.2	15.0	7.3
金属製品 工 業	指 数	91.6	100.0	99.2	102.3	96.1	100.0	99.0	99.2	108.4	101.5	117.7	111.0	122.0	100.0	128.5	120.4
	対前年増減率%	△ 22.9	9.2	△ 0.8	3.1	△ 15.8	4.1	△ 1.0	0.2	△ 4.4	△ 6.4	16.0	△ 5.7	18.2	△ 18.0	28.5	△ 6.3
はん用・生産用 業務用機械工業	指 数	83.1	100.0	103.8	99.3	83.3	100.0	103.2	100.6	126.3	100.2	125.3	81.3	357.1	100.0	91.6	81.9
	対前年増減率%	△ 35.7	20.3	3.8	△ 4.3	△ 37.1	20.0	3.2	△ 2.5	△ 15.3	△ 20.7	25.0	△ 35.1	243.0	△ 72.0	△ 8.4	△ 10.6
電子部品・ デバイス工業	指 数	66.6	100.0	82.9	79.3	66.1	100.0	82.8	80.5	55.2	134.7	214.9	152.5	77.5	100.0	180.6	173.8
	対前年増減率%	△ 22.2	50.2	△ 17.1	△ 4.3	△ 22.0	51.3	△ 17.2	△ 2.8	△ 37.3	144.0	59.5	△ 29.0	△ 9.7	29.0	80.6	△ 3.8
電気機械 工 業	指 数	100.9	100.0	84.6	86.5	100.9	100.0	86.7	84.6	125.9	78.2	38.3	53.9	80.7	100.0	60.2	52.0
	対前年増減率%	△ 12.8	△ 0.9	△ 15.4	2.2	△ 14.3	△ 0.9	△ 13.3	△ 2.4	152.3	△ 37.9	△ 51.0	40.7	60.8	23.9	△ 39.8	△ 13.6
情報通信 機械工業	指 数	89.0	100.0	79.6	92.1	90.8	100.0	81.8	95.7	70.7	154.1	191.7	70.4	70.1	100.0	159.1	89.6
	対前年増減率%	△ 8.6	12.4	△ 20.4	15.7	△ 9.1	10.1	△ 18.2	17.0	25.1	118.0	24.4	△ 63.3	14.7	42.7	59.1	△ 43.7
輸送機械 工 業	指 数	75.3	100.0	96.3	101.7	76.3	100.0	96.0	100.9	101.2	92.8	125.2	80.2	114.2	100.0	115.3	95.8
	対前年増減率%	△ 36.6	32.8	△ 3.7	5.6	△ 35.8	31.1	△ 4.0	5.1	△ 26.3	△ 8.3	34.9	△ 35.9	△ 23.4	△ 12.4	15.3	△ 16.9
窯業・土石 製品工業	指 数	88.8	100.0	98.3	100.2	89.7	100.0	96.4	96.9	103.8	93.3	94.5	88.1	120.9	100.0	104.8	95.7
	対前年増減率%	△ 21.0	12.6	△ 1.7	1.9	△ 22.5	11.5	△ 3.6	0.5	△ 25.1	△ 10.1	1.3	△ 6.8	4.9	△ 17.3	4.8	△ 8.7
化学工業	指 数	97.8	100.0	95.7	83.4	97.4	100.0	94.8	87.0	102.1	103.3	120.4	108.8	115.6	100.0	112.5	128.1
	対前年増減率%	△ 8.6	2.2	△ 4.3	△ 12.9	△ 7.6	2.7	△ 5.2	△ 8.2	△ 18.6	1.2	16.6	△ 9.6	0.8	△ 13.5	12.5	13.9
石油・石炭 製品工業	指 数	103.3	100.0	97.1	84.5	105.2	100.0	99.2	89.7	99.1	98.6	90.4	83.5	98.3	100.0	95.3	106.2
	対前年増減率%	0.5	△ 3.2	△ 2.9	△ 13.0	△ 1.0	△ 4.9	△ 0.8	△ 9.6	△ 8.2	△ 0.5	△ 8.3	△ 7.6	6.0	1.7	△ 4.7	11.4
プラスチック 製品工業	指 数	93.8	100.0	95.6	88.7	89.5	100.0	94.7	86.8	95.9	100.3	104.4	91.9	108.3	100.0	115.6	110.1
	対前年増減率%	△ 24.4	6.6	△ 4.4	△ 7.2	△ 23.9	11.7	△ 5.3	△ 8.3	△ 21.2	4.6	4.1	△ 12.0	1.7	△ 7.7	15.6	△ 4.8
紙・紙加工品 工 業	指 数	95.3	100.0	101.1	106.1	98.1	100.0	99.9	105.4	85.6	95.5	89.5	77.8	104.8	100.0	107.0	86.9
	対前年増減率%	△ 4.2	4.9	1.1	4.9	△ 7.7	1.9	△ 0.1	5.5	16.1	11.6	△ 6.3	△ 13.1	33.2	△ 4.6	7.0	△ 18.8
繊維工業	指 数	89.8	100.0	103.4	98.5	88.1	100.0	105.4	100.6	113.2	148.0	151.5	85.0	97.0	100.0	104.2	87.6
	対前年増減率%	△ 9.7	11.4	3.4	△ 4.7	△ 8.2	13.5	5.4	△ 4.6	△ 21.9	30.7	2.4	△ 43.9	△ 2.1	3.1	4.2	△ 15.9
食料品・ 飲料工業	指 数	96.8	100.0	97.6	99.0	98.0	100.0	98.8	99.0	81.3	97.3	100.0	99.1	99.8	100.0	99.0	92.2
	対前年増減率%	△ 2.6	3.3	△ 2.4	1.4	△ 3.8	2.0	△ 1.2	0.2	△ 19.4	19.7	2.8	△ 0.9	△ 4.9	0.2	△ 1.0	△ 6.9
その他工業	指 数	104.2	100.0	105.9	108.9	107.6	100.0	102.3	106.1	83.9	100.6	97.4	100.6	87.7	100.0	112.6	106.0
	対前年増減率%	△ 12.9	△ 4.0	5.9	2.8	△ 13.5	△ 7.1	2.3	3.7	△ 20.8	19.9	△ 3.2	3.3	10.2	14.0	12.6	△ 5.9
ゴム製品 工 業	指 数	101.2	100.0	95.1	99.3	110.8	100.0	95.7	101.2	83.9	100.6	97.4	100.6	87.7	100.0	112.6	106.0
	対前年増減率%	△ 19.2	△ 1.2	△ 4.9	4.4	△ 14.2	△ 9.7	△ 4.3	5.7	△ 20.8	19.9	△ 3.2	3.3	10.2	14.0	12.6	△ 5.9
家具工業	指 数	103.4	100.0	100.9	100.9	99.8	100.0	99.9	100.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 21.7	△ 3.3	0.9	0.0	△ 22.9	0.2	△ 0.1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	106.8	100.0	115.8	118.4	106.8	100.0	115.8	118.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 5.1	△ 6.4	15.8	2.2	△ 5.1	△ 6.4	15.8	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-
公 益 事 業	指 数	96.2	100.0	100.0	115.3	94.9	100.0	92.0	95.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 3.7	4.0	0.0	15.3	△ 7.1	5.4	△ 8.0	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	81.2	100.0	93.6	96.9	80.7	100.0	94.5	97.9	110.9	97.4	122.5	78.8	201.6	100.0	104.7	87.7
	対前年増減率%	△ 29.9	23.2	△ 6.4	3.5	△ 31.4	23.9	△ 5.5	3.6	△ 16.0	△ 12.2	25.8	△ 35.7	66.3	△ 50.4	4.7	△ 16.2

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

表 4

平成24年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成22年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	95.7	96.6	92.1	88.6	98.2	96.3	92.0	89.7	110.2	102.2	98.8	92.7	105.7	103.1	106.6	103.7
	対前期増減率%	△ 3.6	0.9	△ 4.7	△ 3.8	△ 3.1	△ 1.9	△ 4.5	△ 2.5	1.1	△ 7.3	△ 3.3	△ 6.2	△ 2.7	△ 2.5	3.4	△ 2.7
鉄 鋼 業	指 数	89.7	88.9	83.6	83.1	94.2	90.5	87.1	83.1	91.3	98.3	92.2	92.3	95.2	100.9	101.6	102.8
	対前期増減率%	△ 2.0	△ 0.9	△ 6.0	△ 0.6	△ 0.6	△ 3.9	△ 3.8	△ 4.6	△ 0.9	7.7	△ 6.2	0.1	△ 7.2	6.0	0.7	1.2
非鉄金属 工 業	指 数	102.3	100.7	100.9	95.6	102.0	99.8	99.1	94.8	114.0	114.0	120.4	124.7	118.5	117.2	122.5	133.7
	対前期増減率%	3.9	△ 1.6	0.2	△ 5.3	4.1	△ 2.2	△ 0.7	△ 4.3	0.6	0.0	5.6	3.6	△ 3.7	△ 1.1	4.5	9.1
金属製品 工 業	指 数	102.2	104.5	100.8	98.9	98.9	99.8	96.1	98.1	114.5	113.9	116.9	114.2	114.0	115.8	124.3	127.9
	対前期増減率%	△ 1.1	2.3	△ 3.5	△ 1.9	△ 3.4	0.9	△ 3.7	2.1	△ 5.1	△ 0.5	2.6	△ 2.3	△ 6.6	1.6	7.3	2.9
はん用・生産用 業務用機械工業	指 数	96.1	101.0	105.9	89.0	98.6	102.0	106.7	90.4	114.5	101.5	91.9	77.0	96.6	82.2	78.3	73.3
	対前期増減率%	△ 16.3	5.1	4.9	△ 16.0	△ 16.9	3.4	4.6	△ 15.3	△ 3.6	△ 11.4	△ 9.5	△ 16.2	△ 6.6	△ 14.9	△ 4.7	△ 6.4
電子部品・ デバイス工業	指 数	80.4	82.3	80.4	71.9	81.2	84.1	82.3	72.2	183.3	172.0	142.6	143.4	193.2	184.7	176.3	137.9
	対前期増減率%	3.3	2.4	△ 2.3	△ 10.6	7.4	3.6	△ 2.1	△ 12.3	△ 9.8	△ 6.2	△ 17.1	0.6	△ 25.1	△ 4.4	△ 4.5	△ 21.8
電気機械 工 業	指 数	84.6	86.4	87.5	86.6	81.9	85.3	83.5	83.7	41.4	45.4	50.7	50.7	41.7	45.0	63.1	60.4
	対前期増減率%	△ 6.2	2.1	1.3	△ 1.0	△ 11.8	4.2	△ 2.1	0.2	15.6	9.7	11.7	0.0	1.7	7.9	40.2	△ 4.3
情報通信 機械工業	指 数	83.5	85.4	94.3	100.2	90.6	90.6	95.8	100.8	76.2	78.5	25.9	57.4	129.9	88.5	82.5	50.0
	対前期増減率%	6.8	2.3	10.4	6.3	16.6	0.0	5.7	5.2	△ 52.1	3.0	△ 67.0	121.6	△ 24.8	△ 31.9	△ 6.8	△ 39.4
輸送機械 工 業	指 数	109.3	111.2	94.5	92.1	111.4	110.0	92.4	90.9	173.1	95.0	86.4	80.2	115.9	90.1	92.4	87.5
	対前期増減率%	△ 3.5	1.7	△ 15.0	△ 2.5	△ 2.7	△ 1.3	△ 16.0	△ 1.6	38.9	△ 45.1	△ 9.1	△ 7.2	3.6	△ 22.3	2.6	△ 5.3
窯業・土石 製品工業	指 数	102.3	100.3	99.6	99.0	103.0	96.4	95.3	91.5	96.9	89.4	90.2	90.0	99.2	94.6	94.6	94.4
	対前期増減率%	△ 0.4	△ 2.0	△ 0.7	△ 0.6	△ 1.2	△ 6.4	△ 1.1	△ 4.0	0.5	△ 7.7	0.9	△ 0.2	△ 0.5	△ 4.6	0.0	△ 0.2
化学工業	指 数	87.6	87.5	77.2	80.4	91.2	88.1	81.9	85.9	117.8	121.1	115.1	107.8	118.3	127.8	130.4	134.8
	対前期増減率%	△ 5.8	△ 0.1	△ 11.8	4.1	△ 1.3	△ 3.4	△ 7.0	4.9	△ 0.8	2.8	△ 5.0	△ 6.3	△ 3.0	8.0	2.0	3.4
石油・石炭 製品工業	指 数	88.4	75.9	92.6	80.4	92.1	80.7	92.4	91.0	97.4	92.5	106.8	86.4	101.6	111.8	106.3	103.4
	対前期増減率%	△ 1.6	△ 14.1	22.0	△ 13.2	△ 3.9	△ 12.4	14.5	△ 1.5	4.3	△ 5.0	15.5	△ 19.1	1.1	10.0	△ 4.9	△ 2.7
プラスチック 製品工業	指 数	93.0	93.1	86.5	81.9	92.5	90.4	83.9	79.6	98.1	98.7	92.2	93.7	107.5	105.6	114.7	112.4
	対前期増減率%	△ 2.8	0.1	△ 7.1	△ 5.3	△ 3.2	△ 2.3	△ 7.2	△ 5.1	△ 7.6	0.6	△ 6.6	1.6	△ 6.1	△ 1.8	8.6	△ 2.0
紙・紙加工品 工 業	指 数	103.7	104.9	107.0	107.1	102.6	104.3	104.9	107.1	96.3	99.4	93.3	88.9	90.1	93.3	83.4	80.5
	対前期増減率%	0.9	1.2	2.0	0.1	4.8	1.7	0.6	2.1	△ 6.1	3.2	△ 6.1	△ 4.7	△ 12.2	3.6	△ 10.6	△ 3.5
繊維工業	指 数	104.0	100.8	91.5	94.2	112.9	97.0	97.9	95.3	80.0	91.2	72.9	59.5	75.8	86.9	106.9	72.6
	対前期増減率%	0.9	△ 3.1	△ 9.2	3.0	8.8	△ 14.1	0.9	△ 2.7	△ 24.6	14.0	△ 20.1	△ 18.4	△ 33.7	14.6	23.0	△ 32.1
食料品・ 飲料工業	指 数	101.5	99.1	96.5	98.9	102.3	99.2	96.7	98.0	102.9	103.0	96.7	102.6	91.1	91.7	89.8	96.5
	対前期増減率%	3.0	△ 2.4	△ 2.6	2.5	2.3	△ 3.0	△ 2.5	1.3	△ 0.5	0.1	△ 6.1	6.1	△ 6.0	0.7	△ 2.1	7.5
その他工業	指 数	112.6	108.8	104.9	108.6	111.0	107.5	101.9	105.6	117.2	106.9	109.2	108.3	99.7	102.2	118.3	106.6
	対前期増減率%	5.3	△ 3.4	△ 3.6	3.5	6.0	△ 3.2	△ 5.2	3.6	12.3	△ 8.8	2.2	△ 0.8	△ 9.5	2.5	15.8	△ 9.9
ゴム製品 工 業	指 数	104.7	99.6	95.8	97.4	106.6	104.1	99.3	99.3	117.2	106.9	109.2	108.3	99.7	102.2	118.3	106.6
	対前期増減率%	7.7	△ 4.9	△ 3.8	1.7	6.3	△ 2.3	△ 4.6	0.0	12.3	△ 8.8	2.2	△ 0.8	△ 9.5	2.5	15.8	△ 9.9
家具工業	指 数	109.0	96.5	92.9	101.0	108.3	96.8	92.8	101.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	12.1	△ 11.5	△ 3.7	8.7	11.5	△ 10.6	△ 4.1	9.3	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	120.2	119.2	114.5	118.5	121.9	117.9	114.7	119.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	3.4	△ 0.8	△ 3.9	3.5	4.6	△ 3.3	△ 2.7	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-
公 益 事 業	指 数	113.6	109.7	114.3	119.3	97.7	93.7	92.3	96.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	9.5	△ 3.4	4.2	4.4	6.1	△ 4.1	△ 1.5	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	98.5	102.0	96.2	89.7	101.6	104.0	94.5	89.1	131.4	92.5	84.1	77.2	103.6	83.0	87.4	78.8
	対前期増減率%	△ 4.7	3.6	△ 5.7	△ 6.8	△ 4.9	2.4	△ 9.1	△ 5.7	9.8	△ 29.6	△ 9.1	△ 8.2	△ 3.6	△ 19.9	5.3	△ 9.8

*生産・出荷・在庫率は3か月平均（3か月平均比）、在庫は期末（期末比）

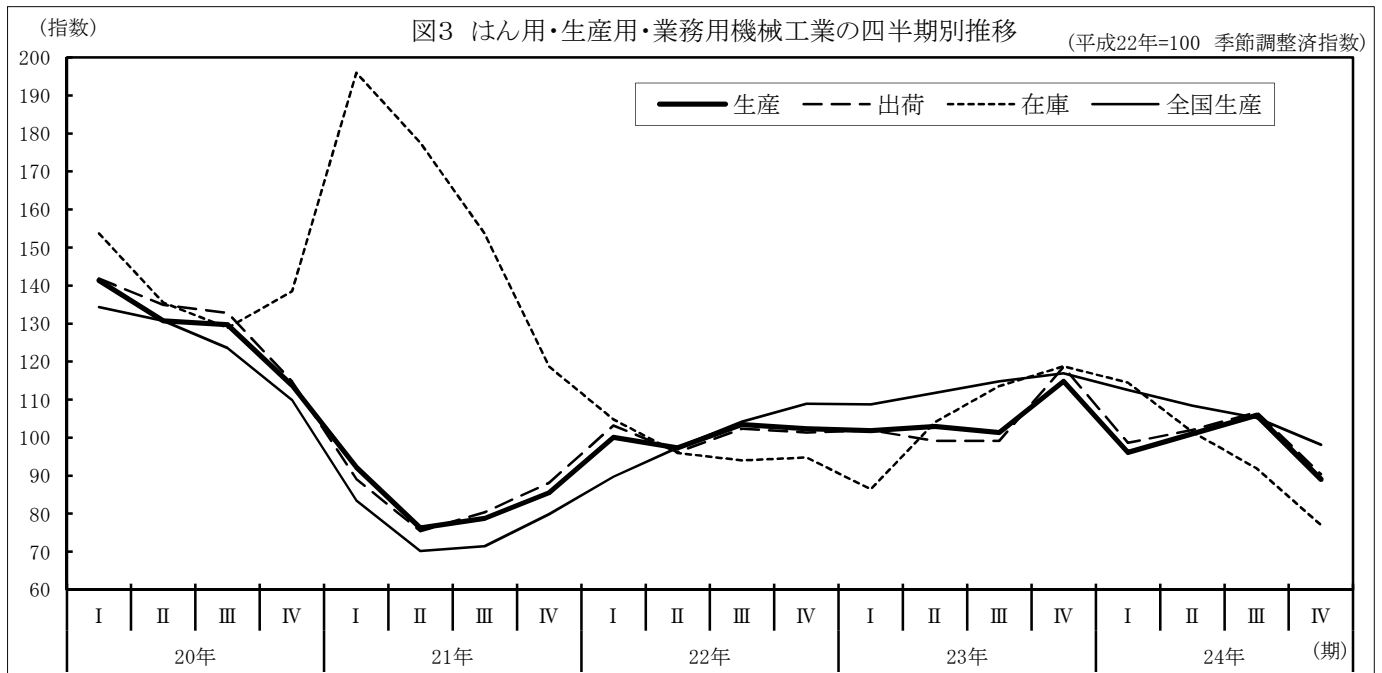
*公益事業、機械工業は参考系列（P83 業種分類参照）

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<はん用・生産用・業務用機械工業>

－生産、出荷とも3年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.3で前年比4.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比16.3%低下、II期は同5.1%上昇、III期も同4.9%上昇、IV期は同16.0%低下しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置やはん用内燃機関などが減少し、ボイラ部品などが増加しました。

また、全国のはん用・生産用・業務用機械工業の生産指数(原指数)は、106.5で前年比5.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、100.6で前年比2.5%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比16.9%低下、II期は同3.4%上昇、III期も同4.6%上昇、IV期は同15.3%低下しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置やはん用内燃機関などが減少し、軸受などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、81.3で前年末比35.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比3.6%低下、II期も同11.4%低下、III期も同9.5%低下、IV期も同16.2%低下しました。

品目別にみると、装軌式トラクタや建設用クレーンなどが減少し、ポンプなどが増加しました。

表5 はん用・生産用・業務用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		23年		24年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	103.8	99.3	96.1	101.0	105.9	89.0	増 ボイラ部品、プレス用金型など 減 フラットパネル・ディスプレイ製造装置、はん用内燃機関、真空ポンプなど	
	対前年(期)増減率%	3.8	△ 4.3	△ 16.3	5.1	4.9	△ 16.0		
出荷	指数	103.2	100.6	98.6	102.0	106.7	90.4	増 軸受、プレス用金型など 減 フラットパネル・ディスプレイ製造装置、はん用内燃機関、油圧機器など	
	対前年(期)増減率%	3.2	△ 2.5	△ 16.9	3.4	4.6	△ 15.3		
在庫	指数	125.3	81.3	114.5	101.5	91.9	77.0	増 ポンプ、精密測定器など 減 装軌式トラクタ、建設用クレーン、はん用内燃機関など	
	対前年(期)末増減率%	25.0	△ 35.1	△ 3.6	△ 11.4	△ 9.5	△ 16.2		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 >

— 生産、出荷とも2年ぶりの上昇 —

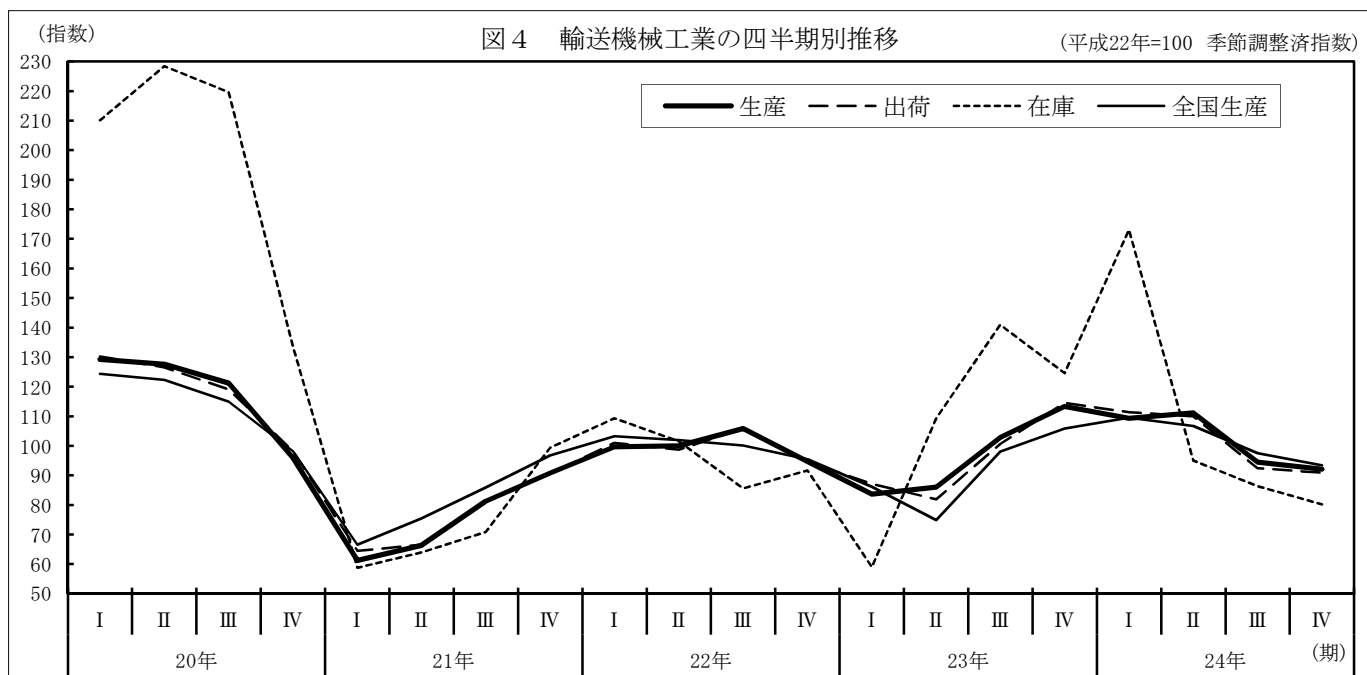


図4 輸送機械工業の四半期別推移

(平成22年=100 季節調整済指数)

< 生産 >

生産指数(原指数)は、101.7で前年比5.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.5%低下、II期は同1.7%上昇、III期は同15.0%低下、IV期も同2.5%低下しました。

品目別にみると、普通トラックやエンジン(自動車用)などが増加し、小型乗用車などが減少しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、101.8で前年比11.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

< 出荷 >

出荷指数(原指数)は、100.9で前年比5.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.7%低下、II期も同1.3%低下、III期も同16.0%低下、IV期も同1.6%低下しました。

品目別にみると、普通トラックやエンジン(自動車用)などが増加し、小型乗用車などが減少しました。

< 在庫 >

在庫指数(原指数)は、80.2で前年末比35.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比38.9%上昇、II期は同45.1%低下、III期も同9.1%低下、IV期も同7.2%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少し、小型トラックなどが増加しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

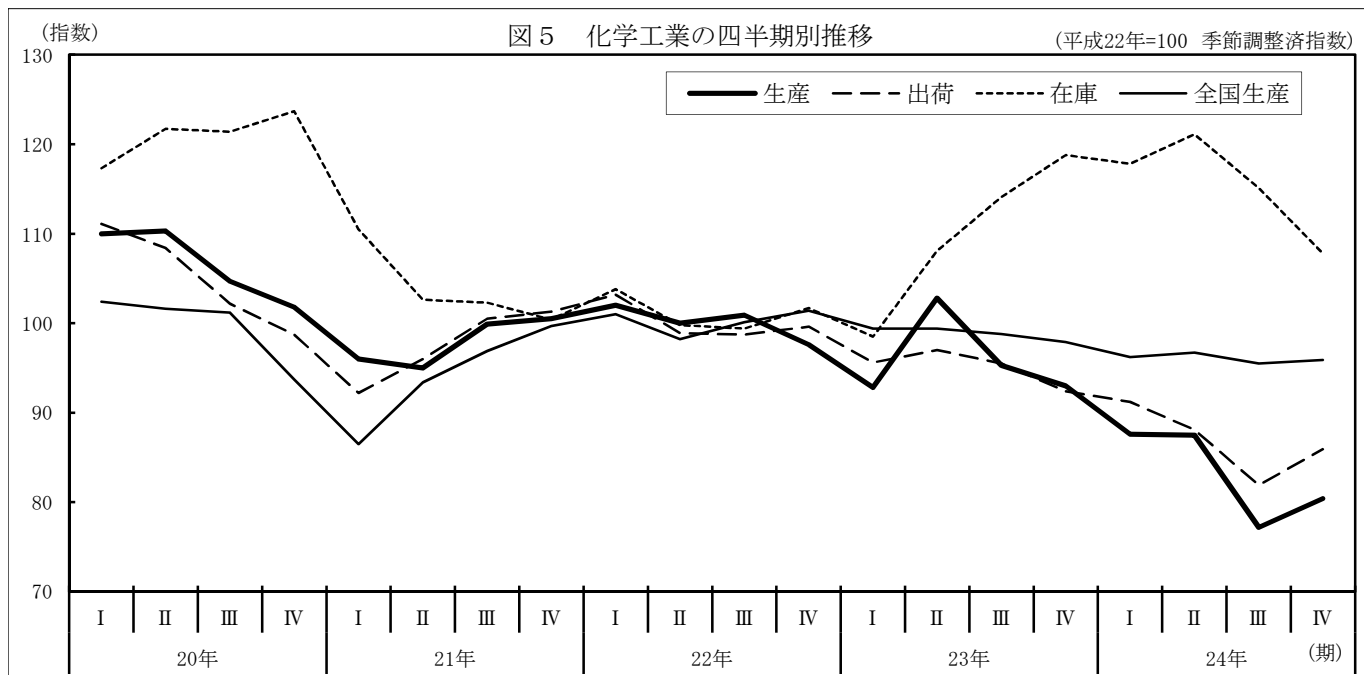
		23年	24年	上 昇 又 は 低 下 に 寄 与 し た 品 目			
				I	II	III	IV
生産	指数	96.3	101.7	109.3	111.2	94.5	92.1
	対前年(期)増減率%	△ 3.7	5.6	△ 3.5	1.7	△ 15.0	△ 2.5
出荷	指数	96.0	100.9	111.4	110.0	92.4	90.9
	対前年(期)増減率%	△ 4.0	5.1	△ 2.7	△ 1.3	△ 16.0	△ 1.6
在庫	指数	125.2	80.2	173.1	95.0	86.4	80.2
	対前年(期)末増減率%	34.9	△ 35.9	38.9	△ 45.1	△ 9.1	△ 7.2
生産	増	普通トラック、エンジン(自動車用)、特装ボデーなど					
生産	減	小型乗用車、普通乗用車など					
出荷	増	普通トラック、エンジン(自動車用)、けん引車など					
出荷	減	小型乗用車、普通乗用車など					
在庫	増	小型トラック、普通乗用車など					
在庫	減	普通トラック、大型バス、けん引車など					

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

* 品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、83.4で前年比12.9%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.8%低下、II期も同0.1%低下、III期も同11.8%低下、IV期は同4.1%上昇しました。
 品目別にみると、化粧品や医薬品などが減少し、ポリエチレンなどが増加しました。
 また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、96.4で前年比2.2%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、87.0で前年比8.2%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.3%低下、II期も同3.4%低下、III期も同7.0%低下、IV期は同4.9%上昇しました。
 品目別にみると、化粧品や写真フィルムなどが減少し、ポリエチレンなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、108.8で前年末比9.6%低下し、3年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.8%低下、II期は同2.8%上昇、III期は同5.0%低下、IV期も同6.3%低下しました。
 品目別にみると、合成ゴムや写真フィルムなどが減少し、石油樹脂などが増加しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

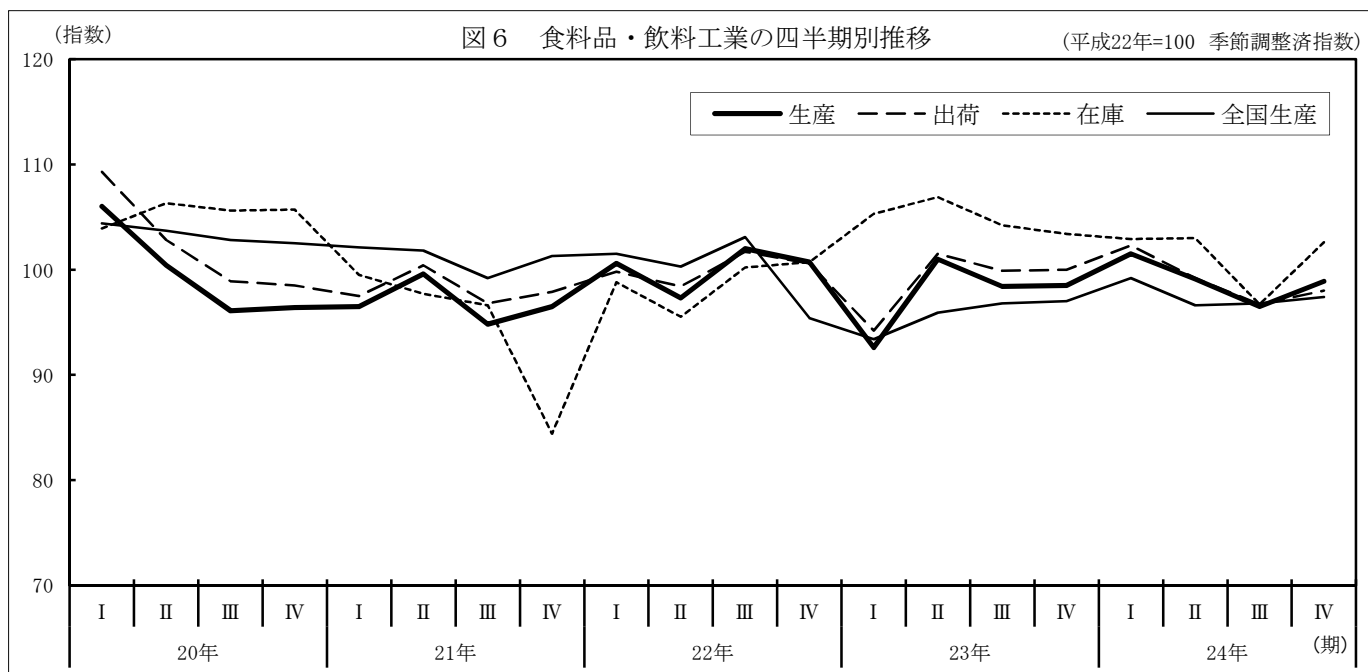
		23年		24年			
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV
生産	指数	95.7	△ 12.9	87.6	87.5	77.2	80.4
	対前年(期)増減率%	△ 4.3	△ 12.9	△ 5.8	△ 0.1	△ 11.8	4.1
出荷	指数	94.8	△ 8.2	91.2	88.1	81.9	85.9
	対前年(期)増減率%	△ 5.2	△ 8.2	△ 1.3	△ 3.4	△ 7.0	4.9
在庫	指数	120.4	△ 9.6	117.8	121.1	115.1	107.8
	対前年(期)末増減率%	16.6	△ 9.6	△ 0.8	2.8	△ 5.0	△ 6.3

上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	ポリエチレン、ウレタンフォームなど
	減	化粧品、医薬品、写真フィルムなど
出荷	増	ポリエチレン、エチレンなど
	減	化粧品、写真フィルム、医薬品など
在庫	増	石油樹脂、ポリスチレンなど
	減	合成ゴム、写真フィルム、メタクリル酸エステルなど

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数
 *品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.0で前年比1.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.0%上昇、II期は同2.4%低下、III期も同2.6%低下、IV期は同2.5%上昇しました。

品目別にみると、チョコレートや炭酸飲料などが増加し、牛乳などが減少しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、97.7で前年比2.2%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、99.0で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.3%上昇、II期は同3.0%低下、III期も同2.5%低下、IV期は同1.3%上昇しました。

品目別にみると、チョコレートや発酵乳などが増加し、牛乳などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、99.1で前年末比0.9%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.5%低下、II期は同0.1%上昇、III期は同6.1%低下、IV期は同6.1%上昇しました。

品目別にみると、小麦粉や焼ちゅうなどが減少し、チョコレートなどが増加しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		23年	24年	24年				上昇又は低下に寄与した品目
				I	II	III	IV	
生産	指数	97.6	99.0	101.5	99.1	96.5	98.9	増 チョコレート、炭酸飲料、発酵乳など 減 牛乳、ビスケット類など
	対前年(期)増減率%	△ 2.4	1.4	3.0	△ 2.4	△ 2.6	2.5	
出荷	指数	98.8	99.0	102.3	99.2	96.7	98.0	増 チョコレート、発酵乳、冷凍調理食品など 減 牛乳、ビスケット類など
	対前年(期)増減率%	△ 1.2	0.2	2.3	△ 3.0	△ 2.5	1.3	
在庫	指数	100.0	99.1	102.9	103.0	96.7	102.6	増 チョコレート、果実酒など 減 小麦粉、焼ちゅう、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など
	対前年(期)末増減率%	2.8	△ 0.9	△ 0.5	0.1	△ 6.1	6.1	

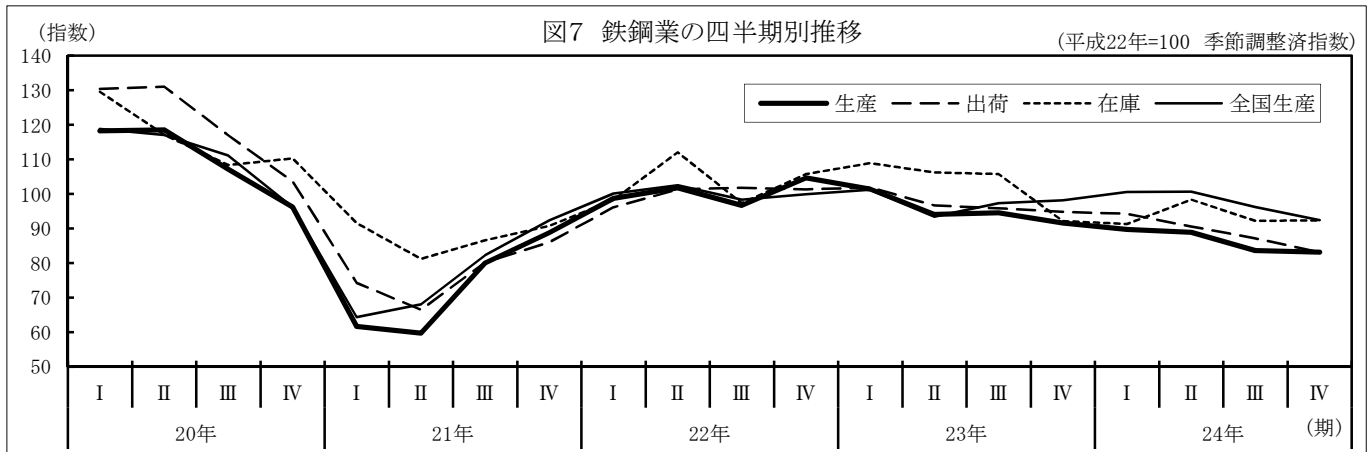
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<鉄鋼業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、87.0で前年比8.0%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、普通鋼鋼板や鋼半製品などが減少し、鋳鋼・鍛鋼品などが増加しました。
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、97.5で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

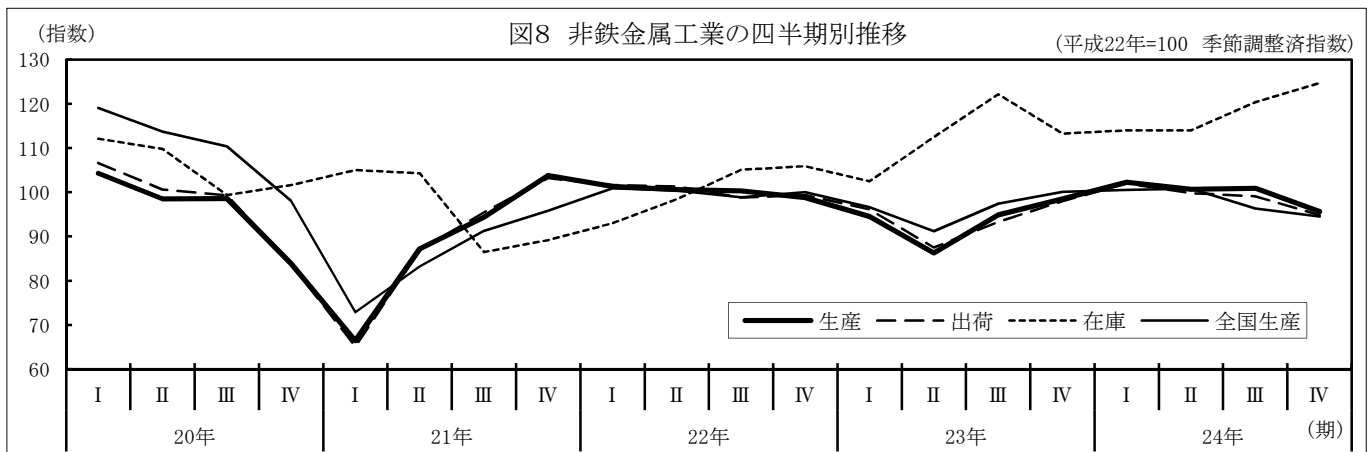
出荷指数(原指数)は、88.8で前年比8.4%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、普通鋼鋼板や普通鋼冷間仕上鋼材などが減少し、普通鋼鋼帯などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、91.7で前年末比0.4%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、特殊鋼熱間圧延鋼材や特殊鋼磨棒鋼・線類などが減少し、鋼半製品などが増加しました。

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、100.6で前年比8.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや銅電線などが増加し、伸銅製品などが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、98.2で前年比2.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

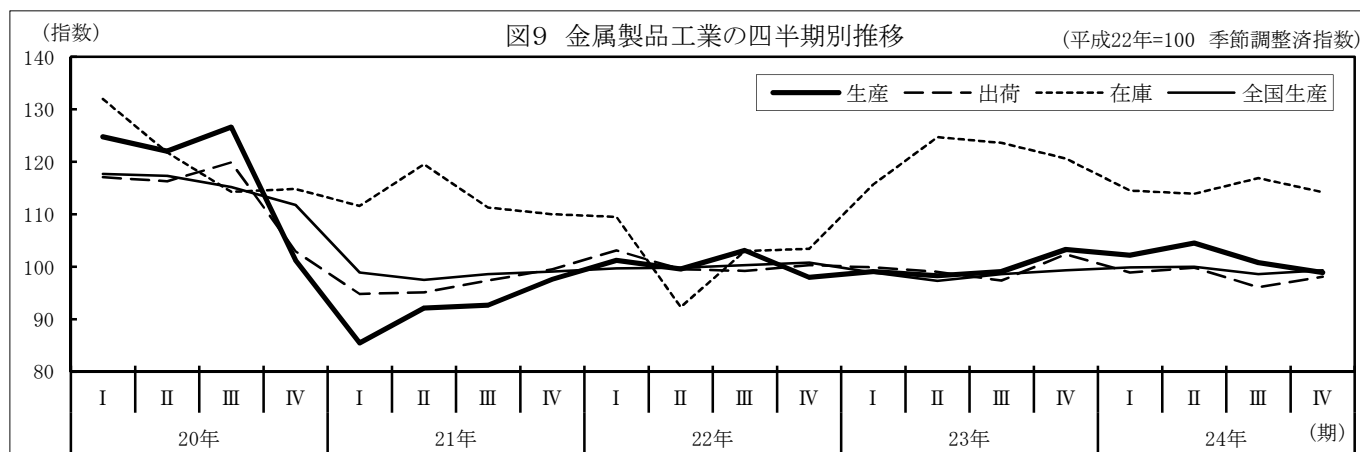
出荷指数(原指数)は、99.6で前年比7.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや銅電線などが増加し、伸銅製品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、131.5で前年末比10.2%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品や銅電線などが増加し、電力用電線・ケーブルが減少しました。

<金属製品工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、102.3で前年比3.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ばねやスチール・ステンレス製建具などが増加し、超硬チップなどが減少しました。
また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、99.8で前年比1.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

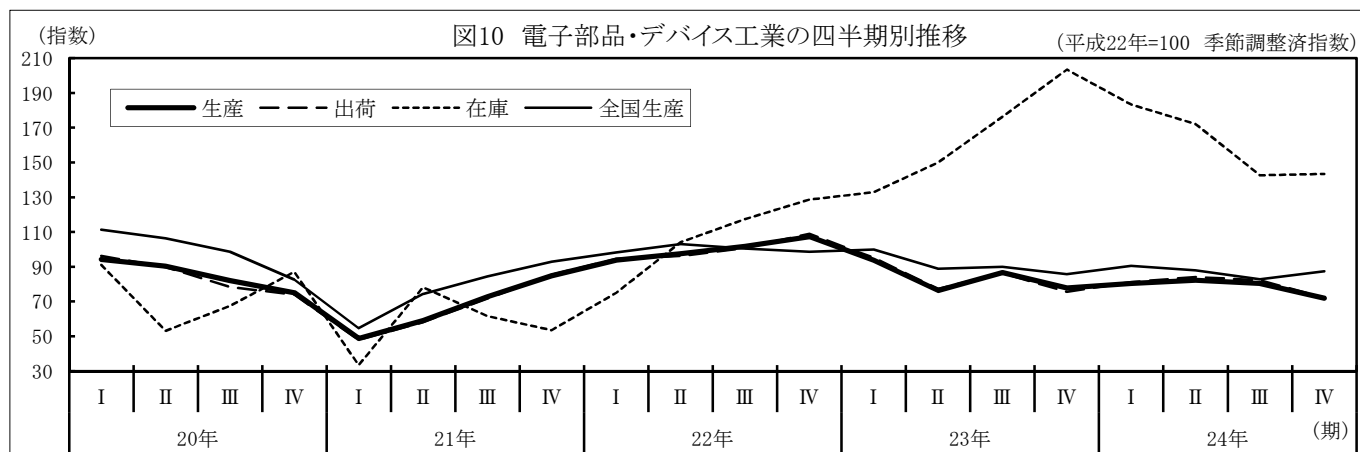
出荷指数(原指数)は、99.2で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ばねやガス機器などが増加し、食缶などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、111.0で前年末比5.7%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ばねや飲料用アルミ缶などが減少し、超硬チップなどが増加しました。

<電子部品・デバイス工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、79.3で前年比4.3%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、コネクタや電子回路基板などが減少し、モス型半導体集積回路(CCD)などが増加しました。
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、87.2で前年比3.9%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

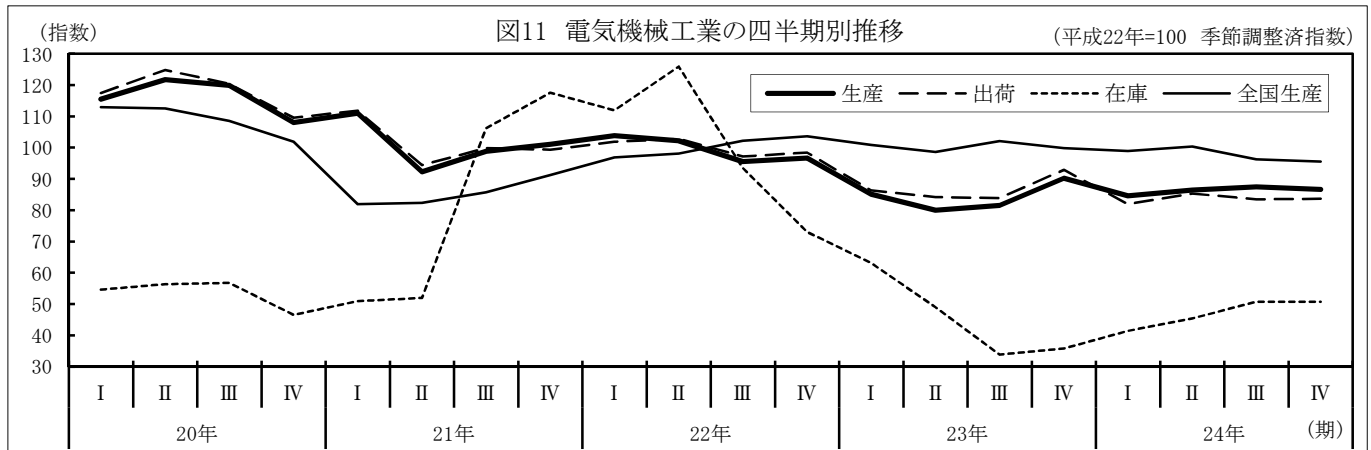
出荷指数(原指数)は、80.5で前年比2.8%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、コネクタやモス型半導体集積回路(論理素子)などが減少し、モス型半導体集積回路(CCD)などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、152.5で前年末比29.0%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、線形半導体集積回路やモス型半導体集積回路(CCD)が減少しました。

<電気機械工業>

－生産は8年ぶりの上昇、出荷は8年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、86.5で前年比2.2%上昇し、8年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、交流電動機や自動車用照明器具などが増加し、その他の電子応用装置などが減少しました。

また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、98.2で前年比1.7%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、84.6で前年比2.4%低下し、8年連続して低下しました。

品目別にみると、その他の電子応用装置やアルカリ蓄電池などが減少し、交流電動機などが増加しました。

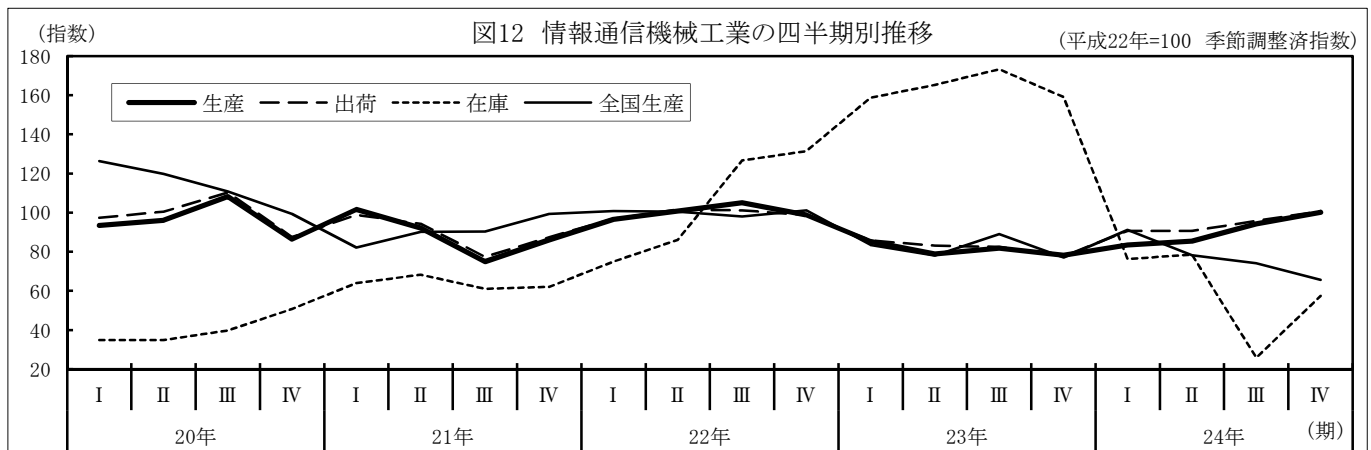
<在庫>

在庫指数(原指数)は、53.9で前年末比40.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、自動車用照明器具や換気扇などが増加し、蛍光ランプが減少しました。

<情報通信機械工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、92.1で前年比15.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、はん用コンピュータや無線応用装置などが増加し、デジタル伝送装置などが減少しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、77.2で前年比5.6%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、95.7で前年比17.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、はん用コンピュータや無線応用装置などが増加し、デジタル伝送装置などが減少しました。

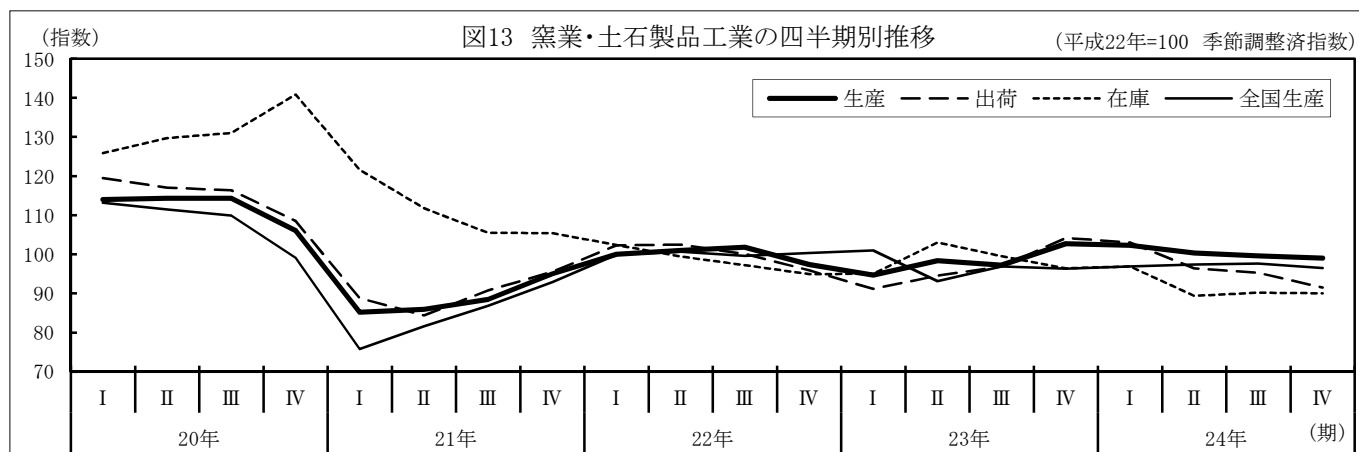
<在庫>

在庫指数(原指数)は、70.4で前年末比63.3%低下し、5年ぶりに低下しました。

品目別にみると、パーソナルコンピュータや陸上移動通信装置などが減少しました。

<窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、100.2で前年比1.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、安全ガラスやガラス短繊維製品などが増加し、板ガラスなどが減少しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、97.3で前年比0.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

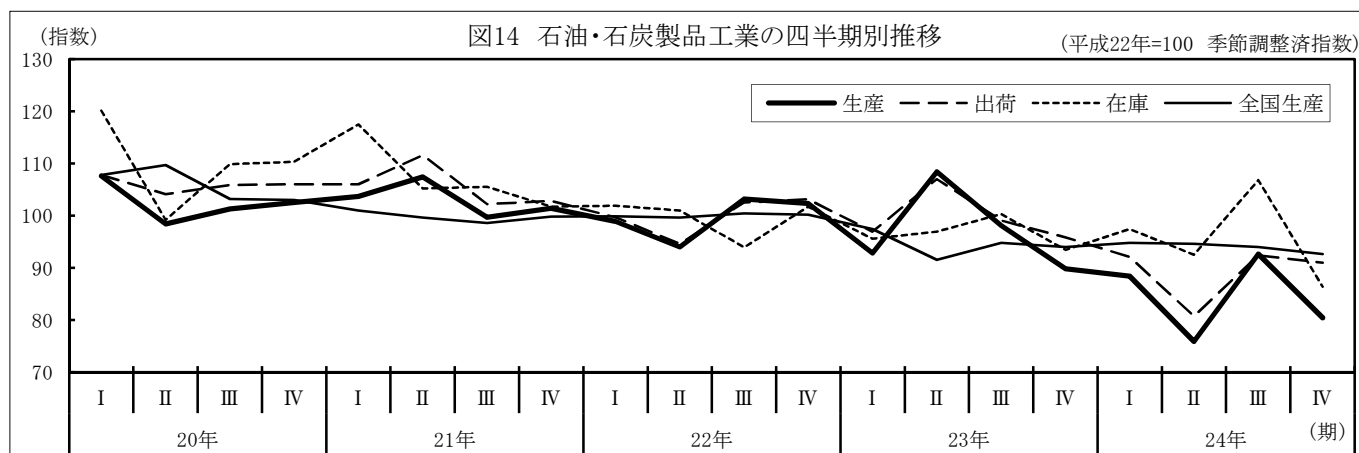
出荷指数(原指数)は、96.9で前年比0.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、安全ガラスやガラス短繊維製品などが増加し、ガラス製容器類などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、88.1で前年末比6.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ガラス短繊維製品や板ガラスなどが減少し、理化学・医学用ガラスなどが増加しました。

<石油・石炭製品工業>

—生産は3年連続の低下、出荷は7年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、84.5で前年比13.0%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、精製及び混合原料油が増加しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、94.1で前年比0.3%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

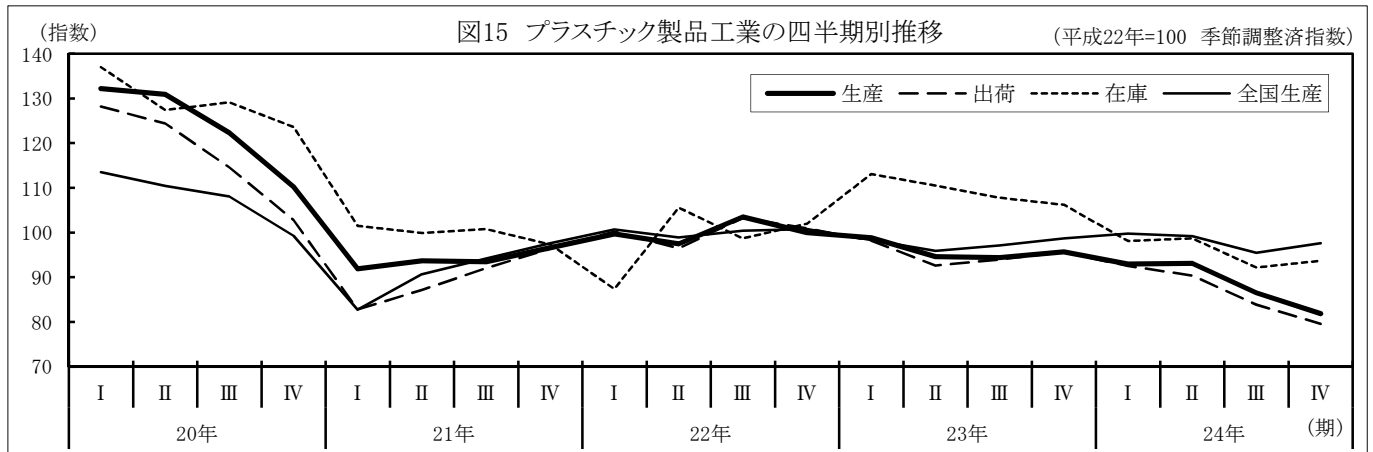
出荷指数(原指数)は、89.7で前年比9.6%低下し、7年連続して低下しました。
品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、精製及び混合原料油などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、83.5で前年末比7.6%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、C重油やナフサなどが減少し、軽油などが増加しました。

<プラスチック製品工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、88.7で前年比7.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、ディスクレコードなどが増加しました。

また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、98.3で前年比1.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、86.8で前年比8.3%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプなどが減少し、ディスクレコードなどが増加しました。

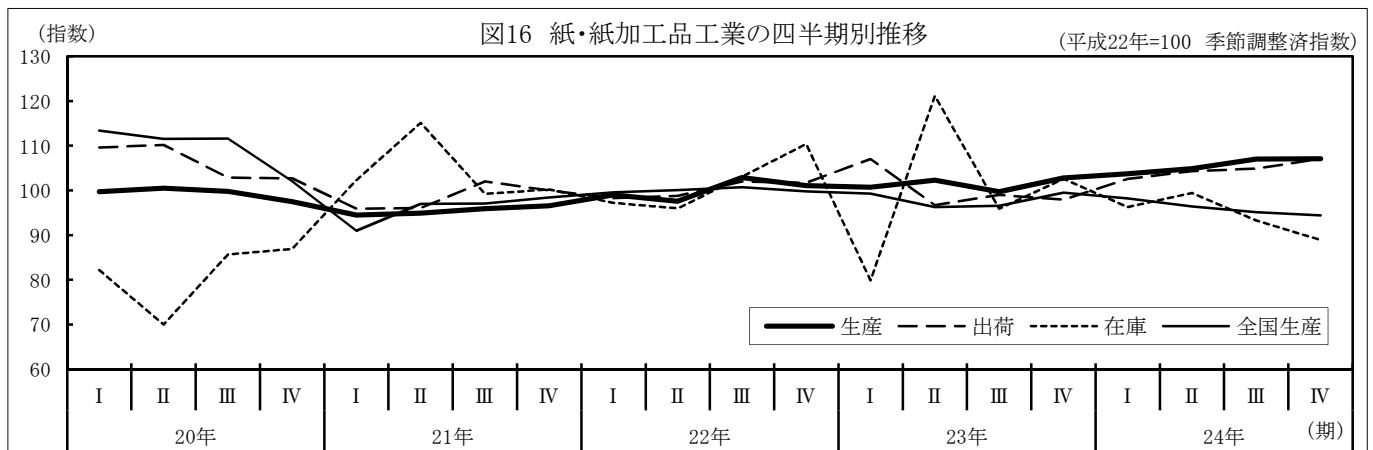
<在庫>

在庫指数(原指数)は、91.9で前年末比12.0%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

<紙・紙加工品工業>

－生産は3年連続の上昇、出荷は2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、106.1で前年比4.9%上昇し、3年連続して上昇しました。

品目別にみると、段ボールシートや衛生用紙が増加しました。

また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、96.2で前年比1.6%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、105.4で前年比5.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

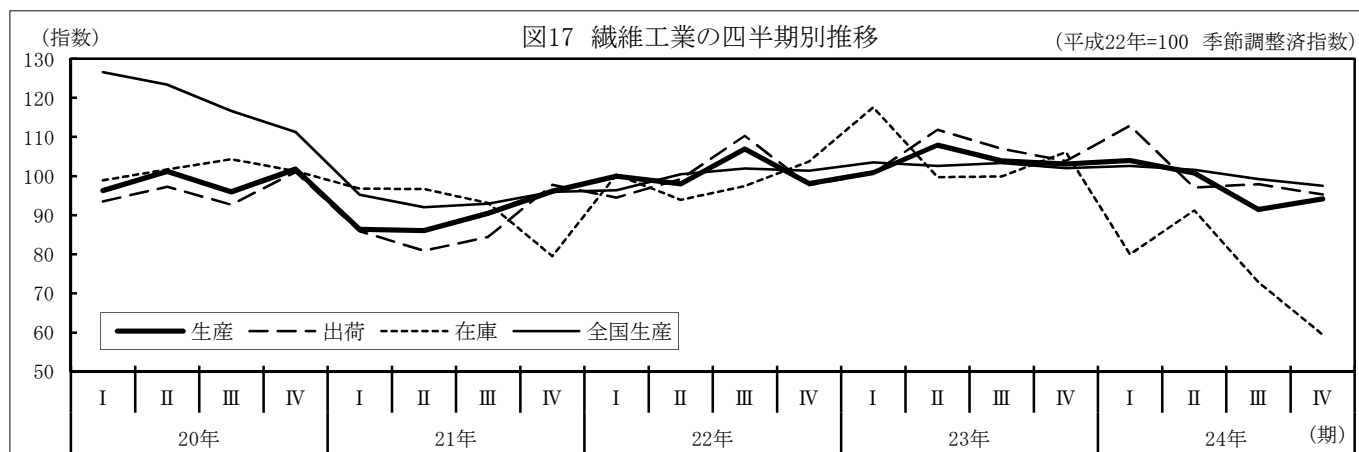
<在庫>

在庫指数(原指数)は、77.8で前年末比13.1%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、衛生用紙が減少し、段ボールシートが増加しました。

<繊維工業>

－生産、出荷とも3年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、98.5で前年比4.7%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣などが減少し、不織布が増加しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、100.4で前年比2.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

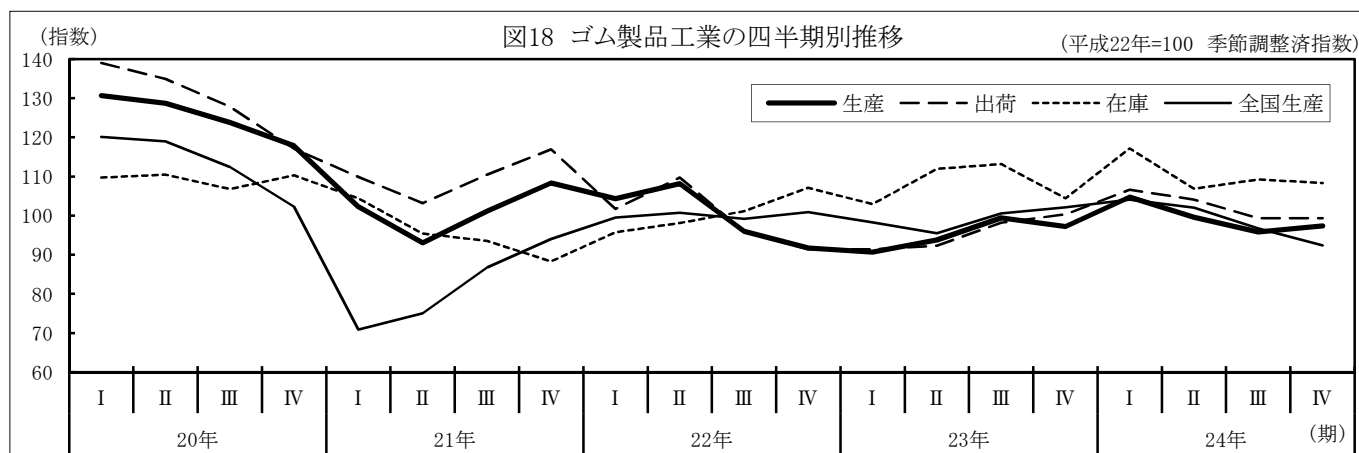
出荷指数(原指数)は、100.6で前年比4.6%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、合成繊維やふとんが減少し、ニット・織物製外衣などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、85.0で前年末比43.9%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ニット・織物製外衣やふとんなどが減少し、合成繊維が増加しました。

<ゴム製品工業>

－生産、出荷とも5年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.3で前年比4.4%上昇し、5年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、コンベヤベルトや工業用ゴム製品が増加し、ゴムホースが減少しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、98.8で前年比0.1%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

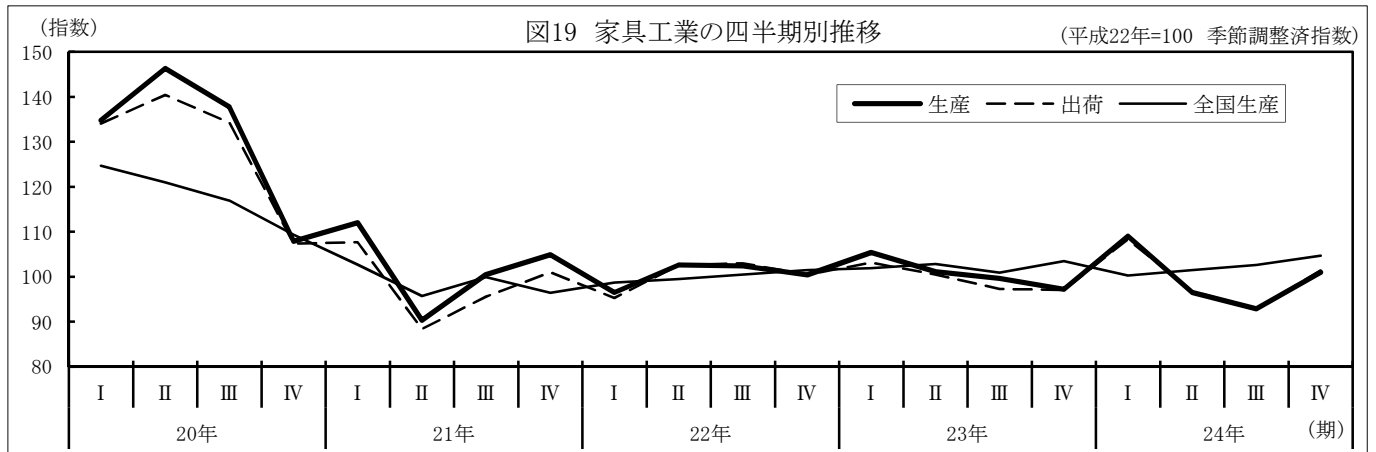
出荷指数(原指数)は、101.2で前年比5.7%上昇し、5年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、コンベヤベルトや工業用ゴム製品が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、100.6で前年末比3.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、コンベヤベルトが増加し、工業用ゴム製品やゴムホースが減少しました。

<家具工業>

－生産は横ばい、出荷は2年ぶりの上昇－



<生産>

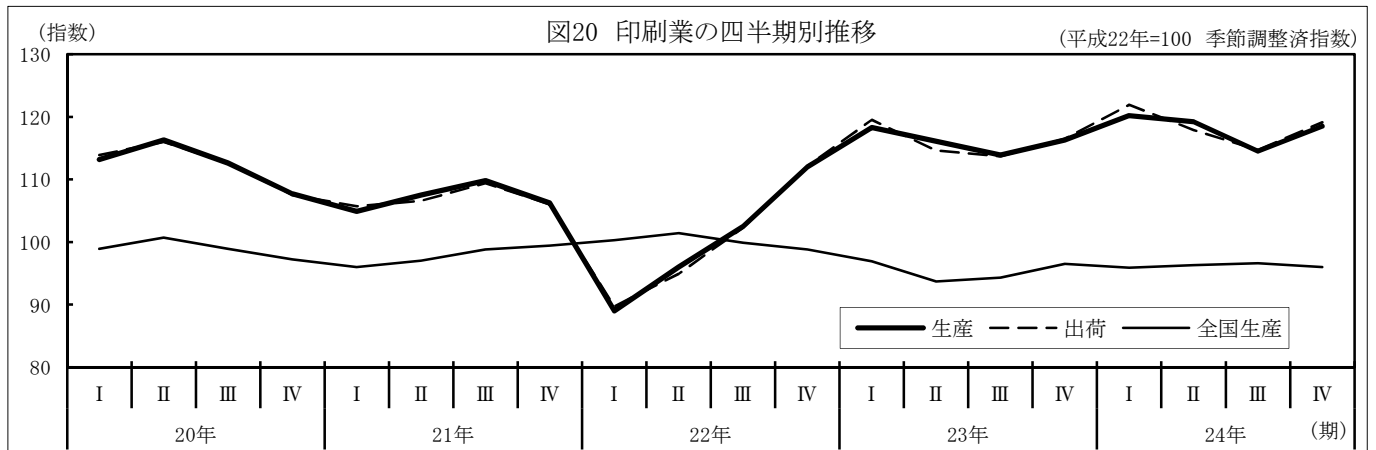
生産指数(原指数)は、100.9で前年比0.0%で横ばいとなりました。
品目別にみると、金属製いすなどが増加し、システムキッチンなどが減少しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、102.5で前年比0.6%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、100.4で前年比0.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすや金属製机などが増加し、システムキッチンが減少しました。

<印刷業>

－生産、出荷とも2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、118.4で前年比2.2%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、商業印刷や建装材印刷などが増加し、包装印刷などが減少しました。
また、全国の印刷業の生産指数(同)は、96.3で前年比1.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、118.5で前年比2.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、商業印刷や建装材印刷などが増加し、包装印刷などが減少しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財、生産財ともに2年連続の低下 ー

平成24年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、95.1で前年比0.2%低下し、2年連続して低下しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、93.8で前年比2.9%低下し、2年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はⅠ期は前期比4.5%低下、Ⅱ期は同0.1%上昇、Ⅲ期は同6.4%低下、Ⅳ期は同3.3%低下しました。生産財はⅠ期は前期比1.4%低下、Ⅱ期は同3.7%低下、Ⅲ期は同3.8%低下、Ⅳ期は同1.0%低下しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、101.6で前年比7.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、普通トラックやはん用コンピュータなどが増加し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、98.8で前年比1.1%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製パイプやアスファルトなどが減少し、ガス機器などが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

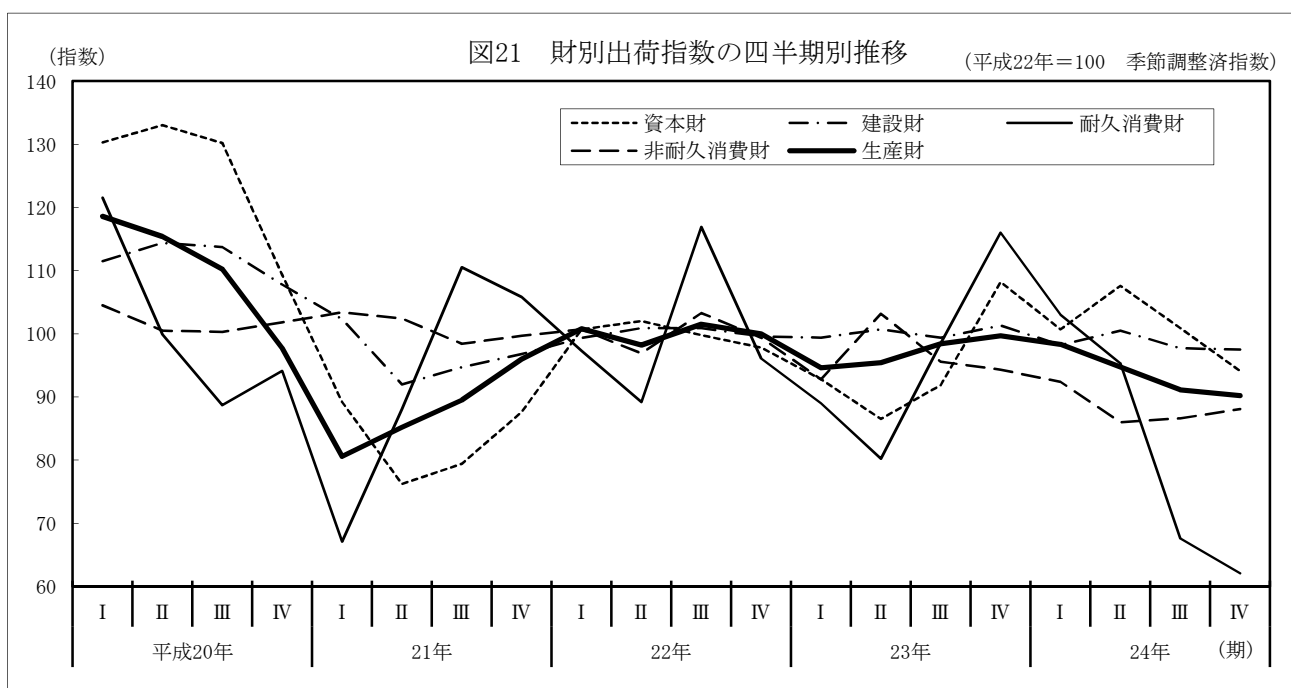
耐久消費財出荷指数（原指数）は、82.3で前年比13.0%低下し、2年連続して低下しました。品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、パーソナルコンピュータなどが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、88.5で前年比7.9%低下し、6年連続して低下しました。品目別にみると、化粧品やガソリンなどが減少し、チョコレートなどが増加しました。

(2) 生産財

品目別にみると、軽油やC重油などが減少し、エンジン（自動車用）などが増加しました。

（P19表9、表10参照）



（特殊分類についてはP83、P85表11参照）

表 9

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成22年=100)

財	年・期	21年	22年	23年	24年	23年 24年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	89.5	100.0	96.0	94.5	101.3	98.2	96.3	92.0	89.7
	対前年(期)増減率%	△ 20.6	11.7	△ 4.0	△ 1.6	4.6	△ 3.1	△ 1.9	△ 4.5	△ 2.5
最終需要財	指数	91.1	100.0	95.3	95.1	103.0	98.4	98.5	92.2	89.2
	対前年(期)増減率%	△ 20.5	9.8	△ 4.7	△ 0.2	9.2	△ 4.5	0.1	△ 6.4	△ 3.3
投資財	指数	85.0	100.0	95.0	101.3	107.0	100.5	106.6	100.6	94.5
	対前年(期)増減率%	△ 31.7	17.6	△ 5.0	6.6	15.2	△ 6.1	6.1	△ 5.6	△ 6.1
資本財	指数	83.2	100.0	94.2	101.6	108.2	100.7	107.6	100.9	94.1
	対前年(期)増減率%	△ 34.1	20.2	△ 5.8	7.9	17.7	△ 6.9	6.9	△ 6.2	△ 6.7
建設財	指数	96.4	100.0	99.9	98.8	101.3	98.2	100.5	97.7	97.5
	対前年(期)増減率%	△ 14.1	3.7	△ 0.1	△ 1.1	1.9	△ 3.1	2.3	△ 2.8	△ 0.2
消費財	指数	99.1	100.0	95.8	87.2	98.2	94.5	87.8	83.4	82.8
	対前年(期)増減率%	△ 2.8	0.9	△ 4.2	△ 9.0	1.1	△ 3.8	△ 7.1	△ 5.0	△ 0.7
耐久消費財	指数	93.4	100.0	94.6	82.3	116.0	103.0	95.3	67.6	62.1
	対前年(期)増減率%	△ 9.0	7.1	△ 5.4	△ 13.0	17.8	△ 11.2	△ 7.5	△ 29.1	△ 8.1
非耐久消費財	指数	100.7	100.0	96.1	88.5	94.3	92.4	86.0	86.6	88.1
	対前年(期)増減率%	△ 1.1	△ 0.7	△ 3.9	△ 7.9	△ 1.4	△ 2.0	△ 6.9	0.7	1.7
生産財	指数	87.9	100.0	96.6	93.8	99.7	98.3	94.7	91.1	90.2
	対前年(期)増減率%	△ 20.7	13.8	△ 3.4	△ 2.9	1.3	△ 1.4	△ 3.7	△ 3.8	△ 1.0

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10

財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	資本財	7.9	1.85	増	普通トラック、はん用コンピュータ、無線応用装置など
				減	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、デジタル伝送装置など
低	生産財	△ 2.9	△ 1.49	増	エンジン(自動車用)、軸受など
				減	軽油、C重油、写真フィルムなど
	非耐久消費財	△ 7.9	△ 1.33	増	チョコレート、発酵乳など
				減	化粧品、ガソリン、医薬品など
下	耐久消費財	△ 13.0	△ 0.57	増	パーソナルコンピュータ、石油機器など
				減	小型乗用車、普通乗用車、ふとん
建設財	△ 1.1	△ 0.04	増	ガス機器、換気扇など	
			減	プラスチック製パイプ、アスファルト、ベンディングロール成型鋼管など	

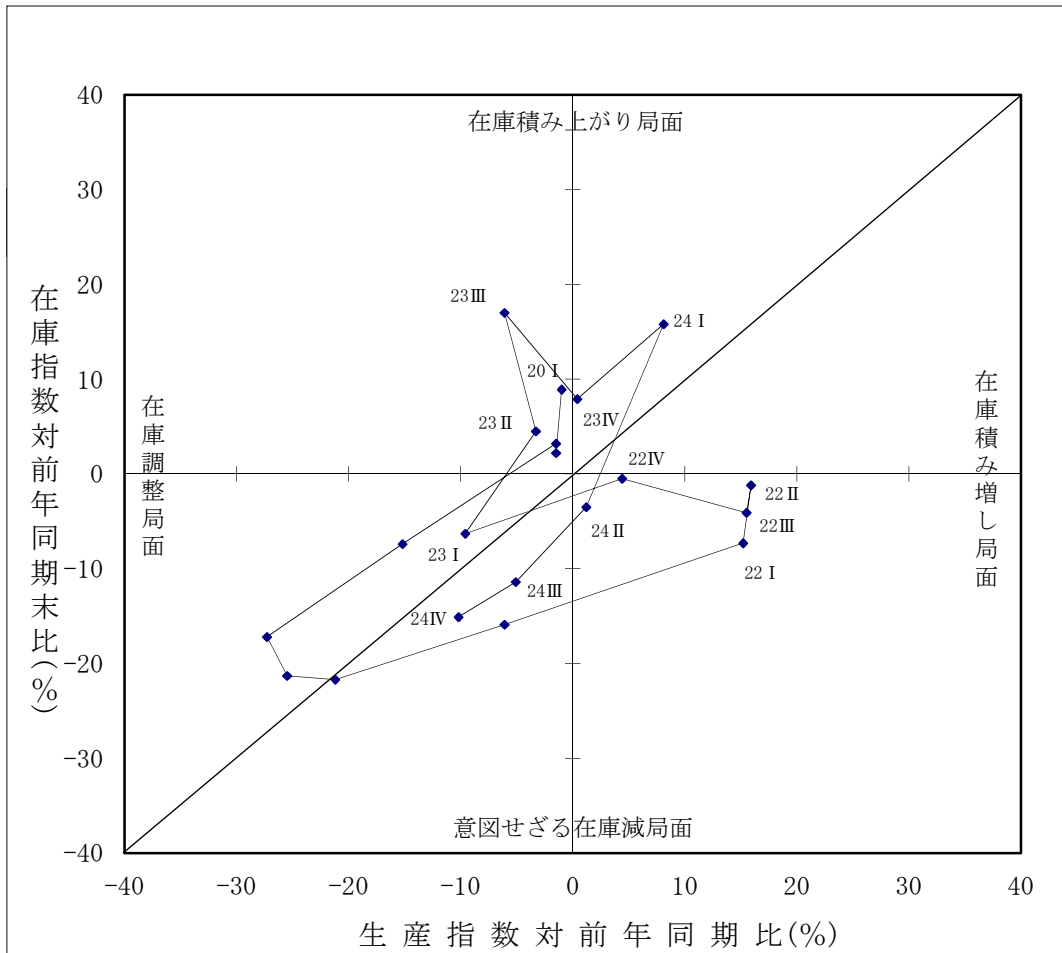
<参考> 在庫循環図

平成24年Ⅰ期の生産指数（原指数）は前年同期比8.1%上昇し、在庫指数（原指数）は前年同期末比15.8%上昇しました。Ⅱ期の生産指数（原指数）は前年同期比1.2%上昇し、在庫指数（原指数）は前年同期末比3.5%低下しました。Ⅲ期の生産指数（原指数）は前年同期比5.1%低下し、在庫指数（原指数）は前年同期末比11.4%低下しました。Ⅳ期の生産指数（原指数）は前年同期比10.2%低下し、在庫指数（原指数）は前年同期末比15.1%低下しました。

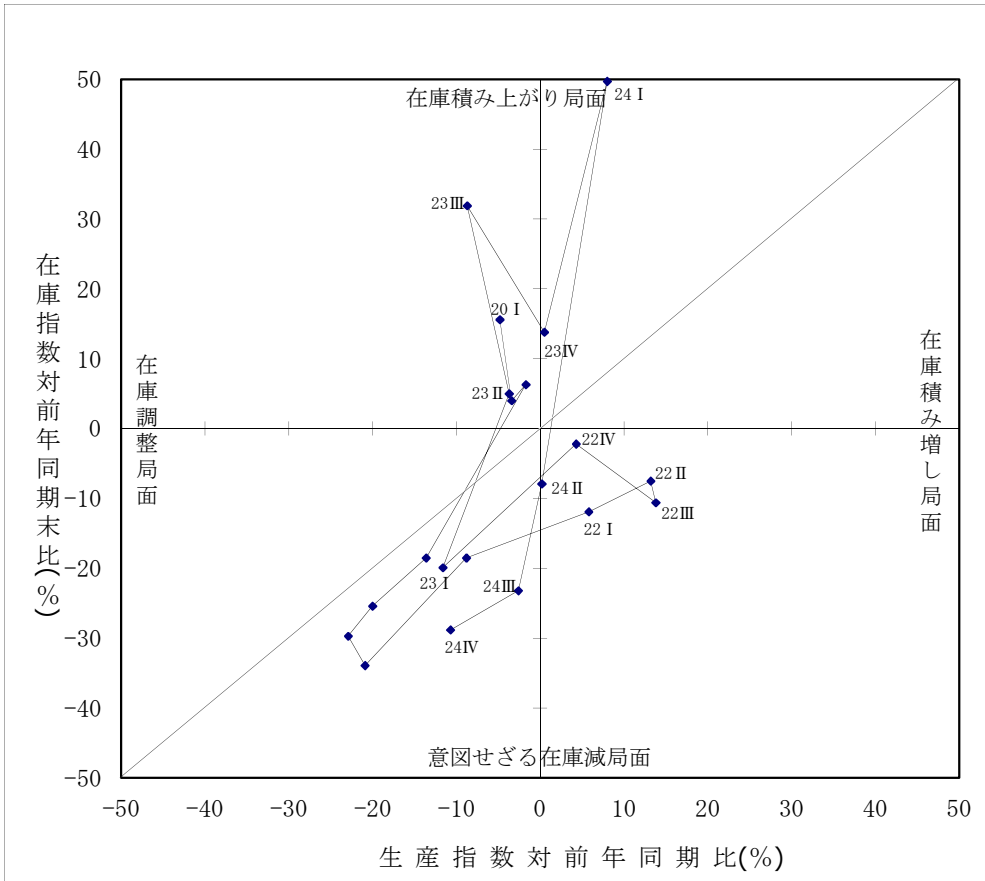
※在庫循環図の見方（生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。）

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

